

復興支援報告書

宮城県山元町仮設住宅

宮城県山元町にある仮設住宅に外灯を支援、この仮設住宅がある土地には十分な外灯がなく、住民の方の安全や防犯に苦勞されている所でした。今回の山元町外灯支援には近くにある山元中学校の校長先生が大きく関わっております。この校長先生は被災した時から住民が自ら動く避難所を目指して尽力していて、その動きが見事成功をし住民が自ら考えて行動する仮設住宅が出来上がっています。現に今回の外灯設置支援でもこの仮設住宅に住む方々が何人も手伝いに来て下さり、各箇所の詳しい説明・取り付け方法などを確認しながらの工事となりました。みなさん震災前は、会社等でバリバリ働いていた方ばかりです。自らの経験を生かして工事はドンドンと進みました。急遽ワークショップ形式の支援となったような気がします。工事が終わった後、参加者のひとりが、「太陽電池って以外に簡単なんだね。これだったら、次は自分たちだけで設置出来るな!」「自由に動かして、もっと暗くて困っている方がいればそこに持って行こう!」と言っていたのが印象的でした。自ら考えて行動する大切さと自立力の強さを感じた支援となりました。



地域の方たちと一緒に
設置工事



LED 照明の取り付けは
仮設住宅にお住まいの方
たちにお願ひ致しました。
かなり上手く付きました。



施工後に記念写真、

仮設住宅内の暗かったところ
に灯りがつきました。防犯
や交通の安全に役立つとも
居ます。

